



■審議会では、団体それぞれの活動状況や活動の意義、目的などについてお話いただきました
■地域活動は地域生活を支えるとともに、外からの人を支える活動でもある
■地域づくりと地域の産業は表裏一体で、産業が強くなれば地域も元気に、またその逆も然りではないでしょうか。
■活動体制の見直し、若い世代の関わり、やることの意義を確認する、など課題も顕在化しました



ex 100年

- 中長期的に**集まる機会**の回復
(焼肉・みんなで集まる)
- 子どもたちに**夏の思い出**づくりを!

●といかん昔と今

多様性

- 人が減っているがいろんな物がある
- いろんなことをやっている(研究林など) (100周年など)

いい思い出

- 市が良かった(凝縮)
- 子どもが多かった
- 共通の話題がくれた!

産業が強くなれば地域も元気に!

地域づくりと産業
酪農 ⇒ 減少

強化

←経営難・高齢化

人が来られるように
ワーホリなど**宿泊場**づくり

サポーターは**増えている**

地域生活を支え、外からの人を支え

●といかん起業

- まちに灯りがついた!
- 人が集まる、来る
きっかけ! 人がいる感

●地域に企業があること

- 働く場があるということ!
- 技術の伝承(なかなか難しい)
- 地域の維持管理**作業、**暮らしを支える環境整備**

●研究林と地域

- 働く場、住むところの創出
- 立ち寄り場、人を呼ぶ場

●地域の足を支える

- 高齢者の免許返納者、免許を持っていない人の**買物**、美容室
- 生活の利便性の確保

お宅まで送迎

●ワラベンチャー

- 自然がたくさんあるが、子どもたちだけで自然を楽しめない

(親も一緒に子どもと自然の大切さを知り楽しめるように!)

春

炭坑の見学
山菜取り⇒食べる

夏

釣りをする⇒食べる

冬

スノーモービル

つりクラブの協力

研究林の協力

地域の協力

連携

●盆おどり

- 町内の仕事の効率化
 - 内容の見直し(簡素化)
- 実行委員会化?
役に負担を感じる人も

●町内会活動の意味

- 1、2、3地区で**地域が変わらねば**と話している。
- 必要なことの見直し**、**役員の輪番制**の見直し?
- 動ける人がやるだけでなく**

活動の体制見直し

やることの意義の確認

地域の人の声かけ

外の人 coming

●PTA活動

- 子どもが減っている **子ども・学校は地域の財産!**
- 楽しめる地域**であることをPRしたい!
- 地域が元気なら**郵便局**も残れる!
- PG、お年寄りが元気⇒7回/年の大会

年配の方の協力

学校があるということ

- 先生とその家族
- 子どもとその家族
- 学校中心に人が集まる!

若い世代のかかわり

●民生委員・児童委員

見守り

- 一人住まいの人を中心にまわっている
 - 昼食会**を開いた(8割くらい)
 - 外につれ出したい人が
- 外と連携?

外出

促したい

●福祉の取組

- 人口減、過疎化進む中、**地域の人だけでやるのが難しい。**
- 障がいのある人が**地域を歩ける、生きる力**をつけてもらいたい。**自立する力**

- といかん市のフリマは新たな関わり（人）を生むきっかけになった
- 地域活動の見直しは、これまでの地域活動で何を大切にしてきたかを確認する必要がある
- 地域運営組織は、楽しく活動したいね、やりたい人がやりたいことをやるを基本にしたいね、人との関わりが楽しいね、地域の良さを知りたいね、が活動の基本ではないか
- といかん果樹園は、誰でも関わっていいよ、という案内をしたい、名前の募集もしたいね

フリマ編

フリマは年1回？

といかん市（冬）
11/11
・手作り品
・秋野菜
・まき

●地域活動の洗い出しと地域運営

●といかん果樹園

●9月2日といかん市（振返り）

